高専通信

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY(KOSEN), TOMAKOMAI COLLEGE

VOL.
163

- オリエンテーション
- オープンキャンパス
- 高専体育大会
- クラブ活動報告
- 高専協力会だより
- TOPICS

2023年10月発行

苫小牧工業高等専門学校 〒059-1275 苫小牧市字錦岡443 苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係
[URL]https://www.tomakomai-ct.ac.jp [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

第1学年 オリエンテーション

1年4組
貝塚友城

第1学年オリエンテーションを受け、専門系の話、サイバーセキュリティの話、性の話を聞きました。

1年後にはクラスの人それぞれが違う専門系に進むことになります。1年後の選択で人生が決まるわけではありませんが、将来の仕事に大きく関わってくる選択となるので、自分の行きたい専門系をよく考えて、勉強に食らいつきたいと思います。

また、学校、友達関係に慣れてくるとSNSでのトラブルが増えてくるので、SNS上でのマナーを再確認すべきだと思いました。

最後に性に関する話ですが、中学校では性について詳しく学ぶ機会が少なかったため個人的に印象に残っています。今回の話ではかなり直接的な表現が多く、日本はあまり性教育が進んでいないと実感しているので、貴重な時間を過ごすことができました。

1年1組
遠藤蒼太

4月20日に第1学年のオリエンテーションを受けました。先生や先輩方から、専門系での活動、学習内容についての説明を受け、実際の現場での仕事についても理解を深めることが出来ました。僕はオリエンテーションの系の説明の中で特に電気電子系に興味を持ちました。なぜなら、その系では、人工衛星を製作し、その人工衛星を宇宙に打ち上げたという説明を聞いて、宇宙に関われる内容が楽しみだと感じたからです。

これから他の系のこともたくさん調べて、その系でどんな活動内容が行われているかにも触れ、自分自身にあった系に入れるように日々努力したいです。

1年2組
三好言諭

今回のオリエンテーションでは各系紹介など、これからの高専生活にかかせない話がありました。

紹介では、卒業後の主な編入先、就職先や主に学習することを紹介してもらいました。それにより、どの系が自分に合っているか、どんな高専生活を送っていくのかが明確になりました。

また、1つの専門知識だけを伸ばしていくのではなく、他の系や、社会全体にも興味を持ち、幅広く学ぶ必要があるということも説明されました。

これらの話を聞いて、自分たちは高専生活や将来のことを考えやすくなりました。

1年5組
山村　諒

入学式が終わって数日後に行われた第1学年オリエンテーションは、高専についての不明点などを明瞭にする良い機会となりました。各系の概要説明、各系からどんな職種に就職しているかなどを聞き、将来自分がどの系に行くかについて想像しやすくなりました。

また、高専は、他の高校に比べてもかなり自由であるといえます。そうすると、SNSなどでトラブルが発生するかもしれません。そこで今回のオリエンテーションにて行われた、北海道警察による講演がとても参考になりました。

講演では、主にSNSで募集される闇バイトについて説明していただき、普段触れているSNSは危険性にあふれているため、うまく向き合う必要があると強く思いました。

今回のオリエンテーションによって、今後の高専生活をうまくやっていければと思います。

1年3組
小幡歩武

第1学年オリエンテーションでは、専門系についての説明を受けました。その系の就職先や進路先、どのようなことをやるかなど、たくさんのことを教えてもらいました。まだ系のことを詳しく知らない1年生にとって、とても有意義なものになったと思います。

個人的には機械系に進みたいと考えており、オリエンテーションの時にもそのように考えていました。そして、実際に機械系のオリエンテーションを受けて、これからの高専生活を具体的にどうしたいか、どう過ごすか、そんなことを考えられた気がしました。

オリエンテーションを受けて、高専のことを知ることができたので、それらをこれからの高専生活に活かしていきたいと思います。

第2学年 オリエンテーション

都市・環境系

2年2組
川上拓夢

将来、防災に関する仕事をしたいと漠然と考えて希望していましたが、無事、都市・環境系に配属となりました。１年生のときの創造工学Ⅰでは、パスタブリッジの強さを調べる実験をしましたが、勉強に関する具体的な内容は知りませんでした。オリエンテーションでは、勉強の内容や将来の進路の説明を受けました。一番印象に残ったのは、5年生との対話でした。僕たち2年生が5~6人のグループに分かれ、その中に5年生が1人入り、都市・環境系についていろいろな話を聞きました。体育大会では結束力を出すと聞き、僕たちのクラスも頑張ろうと思いました。後日談ですが、春季体育大会では5位の成績でした。都市・環境系の一員としてこれからも頑張っていきます。

機械系

2年1組
直江芯太朗

令和5年4月18日、機械製図室にて私たち2年1組は機械系のオリエンテーションを受けました。

オリエンテーションでは機械系の先生方、5年生の先輩方から実習・研究・進路など多岐に渡って機械系の紹介を受けました。飽きっぽい自分が集中して話を聞けたのは、これからの体験に胸を躍らせていたからに違いないからだと思います。また、2年生同士での交流の時間は印象的で、いろいろな理由で機械系を志望した個性的（爆発気味?）でユニークで訳アリ（一部）な同級生達の自己紹介は、時間を忘れるほど面白かったです。

機械系に配属されて、まだ知らないこともたくさんあるありますが、このオリエンテーションをバネに最高の高専生活を送りたいです。2年1組のみんなよろしく。

応用化学・生物系

2年3組
藤山純平

第2学年オリエンテーションでは、応用化学・生物系の先生方の紹介や専攻科生の先輩のプレゼンなどが行われ、応用化学・生物系に新しく入った2年生が改めて自分たちが苫小牧高専でどのようなことができるのか考えるきっかけになりました。特に専攻科生のプレゼンでは、実体験を絡めた話をしてくださり、実験におけるノートの取り方の紹介など実践的なことが聞けてとても有意義な時間になりました。

自分はオリエンテーションを受けて、危険物取扱甲種の取得など、応用化学・生物系に進級したことによってやりやすくなったこと、できるようになったことに今後、積極的に取り組んでいきたいです。

電気電子系

2年4組
菊地章登

２年４組のオリエンテーションでは、実験室を回り、各分野の先生方にこれから私たちが何を学習するのかを実際に実験を見学しながら教えていただきました。特に印象に残っているのは、高電圧実験室で体験した落雷実験です。視覚的にも聴覚的にも派手な実験で心が躍りました。他にも、最先端の技術であるプラズマスピーカーなどを見せていただき、本校の設備が他のどの高校よりも整っていることに感動しました。その後は、専攻科の先輩方とお話をして、学習のポイントや楽しいイベントのことを伺い、2年生に上がって不安だった気持ちを拭っていただきました。

これから４年間、立派な技術者を目指して、困ったときは助け合いながら様々な体験や学習を通して成長し、互いに高めあっていきたいです。

情報科学・工学系

2年5組
治田凪冬

情報科学・工学系のオリエンテーションでは、これから学んでいく専門科目についての説明や、先生方の紹介、進路や就職先の紹介などがありました。その後、先輩学生に来ていただき、これから4年間続く高専生活の中で大切なことや、大変だったこと、授業や日々の生活で力を入れたほうがよいところなど、情報科学・工学系で勉強していくうえで重要なことを教えていただきました。

その後はクラス内で自己紹介を行い、まだ話したことがない人と話すきっかけになりました。

これから卒業するまで共に過ごしていくクラスメイトと、お互いに助け合い、より良い高専生活を過ごしていけるよう頑張っていきたいです。

PUS 2023

オープンキャンパス開催報告

教務主事補
佐々木幸司

小牧高専では、中学生、保護者、中学校関係者の皆様に苫小牧高専の教育活動を知っていただく機会として、毎年オープンキャンパスを実施しています。今年は8月5日（土）、6日（日）に開催しました。当日は市内・市外から多くの中学生と保護者の皆様にご参加いただきました。来場者数は中学生337名、保護者等407名の合計744名でした。

過去数年間のオープンキャンパスはコロナ禍のため、人数制限や滞在制限を設け、さらに事前予約制とした形式での実施でした。この間のオープンキャンパスでは展示物も少なく、説明する教職員や学生も人数を減らした実施形態でした。そのため本校で実際に学んでいる学生らの様々な声を耳にする機会が少なかったと思います。

しかし、今年度はコロナ前と同様に人数制限や滞在制限もない実施ができ、学生らの様子を見ていただけたと思います。

オープンキャンパスでは、学校概要説明、寮の見学、入試問題解説を実施しまし

機械系の体験コーナー

都市・環境系の体験コーナー

応用化学・生物系の体験コーナー

OPEN CAM

た。学校概要説明では、本校の教育について理解を深める機会を提供することができたかと思います。さらに5つの専門系では、体験コーナー・実験コーナー・展示コーナーを通じて、各専門系の教育内容に対する理解を深めていただく機会を提供できたのかと思います。

オープンキャンパスのアンケートの結果では、「苫小牧高専を知る上で大変参考になった・参考になった」という回答がほぼ100%でした。

「苫小牧高専に進学したい（させたい）と思いますか?」との質問には、約8割の方から「進学したい」との回答をいただき、残りの2割の方が「まだわからない」と回答されています。全ての方に進学したいと考えていただけるような魅力的な学校づくりに励みたいと思います。

最後に、オープンキャンパスの開催には、大変多くの教職員・学生の皆様にご協力いただきました。この場を借りて心より感謝申し上げます。

情報科学・工学系の体験コーナー

電気電子系の体験コーナー

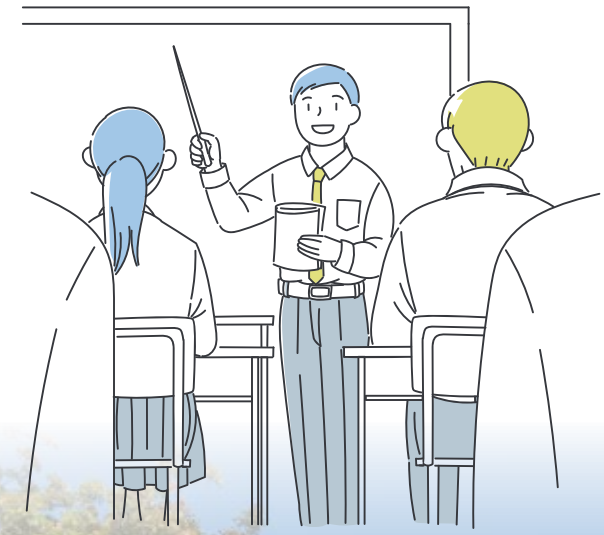
授業参観

教務主事補
中村 嘉彦

令和5年度の授業参観を4月28日（金）9：00～16：00の時間帯に実施いたしました。

授業参観には、計262名（令和4年度292名、令和3年度、令和2年度は未実施）の保護者の皆様にご来校いただきました。

アフターコロナとして各種行事が再開されていく中で、昨年度までに行っていたような見学時間の制限や立ち入り制限などもなく自由に参観いただく形での開催といたしましたが、保護者のみなさまのご協力により無事実施することができました。この場をおかりしまして感謝申し上げます。



当日は各専門系での専門科目・実験・実習や数学･英語などの一般科目、昨年度から新しいカリキュラムとして始まった1年生科目であるデータサイエンス基礎など各種の授業をご見学いただけたかと思います。

一部、お知らせしていた授業参観自体の終了時間よりも早く授業が終わってしまうクラスがあるなど、事前にお伝えいたしました連絡が不十分だったケースがございまして、ご迷惑をおかけした部分もあり誠に申し訳ございませんでした。

各種学校行事が再開されております中で、より良い形で実施できるようにしていきたいと考えております。

最後に、今後とも、苫小牧高専における教育・研究、学校・寮生活等へのご理解ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

令和5年度 授業見学ツアー

教務主事補
佐々木幸司

苫小牧高専では、本校の教育活動や高専生活の一端を見学できる機会の一つとして、毎年、中学生・保護者の方を対象に授業見学会を実施しております。

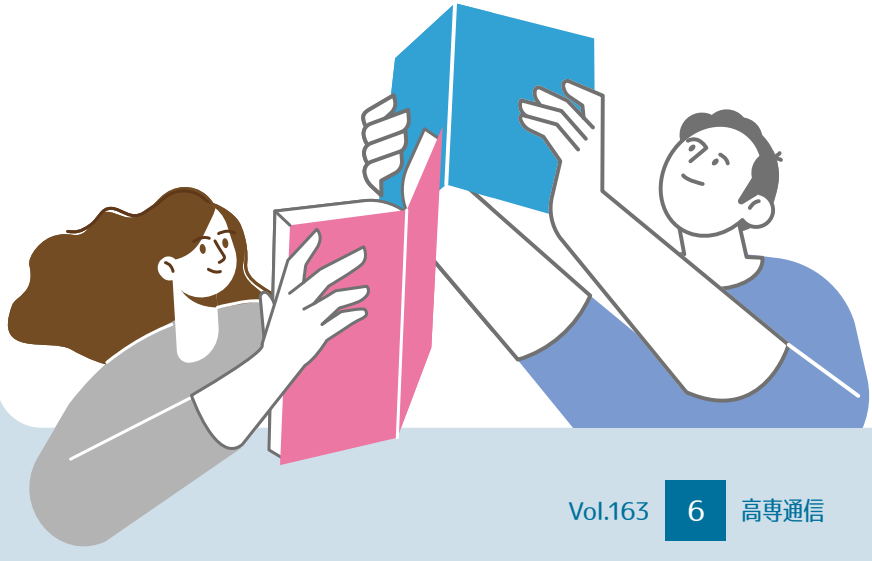
今年度は、第1回授業見学ツアーを6月15日（木）9：00～10：10、10：40～11：50、第2回授業見学ツアーを7月20日（木）9：00～10：10、10：40～11：50に実施しました。参加人数は、第1回目、2回目いずれも120名と満員でした。

市内の方だけではなく、近郊・遠方の方にもお越しいただきました。ご参加いただきました中学生・保護者の皆様、誠にありがとうございました。また、残念ながらご参加が叶わなかった皆様には、心よりお詫びを申し上げます。

授業見学ツアーでは、本校1年生向けの授業「創造工学Ⅰ」において、第1回目は、モデルロケットの打ち上げおよび応用化学・生物系、電気電子系、情報科学・工学系の実験実習体験、第2回目はPythonプログラミング実習および情報科学・工学系、機械系、都市・環境系の実験実習体験を見学していただきました。本校の学生が熱心に授業に取り組んでいる様子をご覧いただき、高専生活の雰囲気を感じていただけたと思います。

実施後のアンケートでは、進路選択の参考になったという意見が第1回目、2回目ともに100%と本ツアーの目的を果たすことができたように思います。ご意見としては、「通って学びたいと意欲が湧いた」、「今回の見学ツアーで苫小牧高専に行くと決めることができた」などの他に「普通の教科も見学したかった」との意見もありました。このようなご意見も今後の参考にさせていただきます。

ご協力いただきました学生・教職員の皆さまのおかげで無事に本イベントを終えることができました。心より感謝申し上げます。



高専体育大会

第59回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会の成績（個人戦は入賞者のみ掲載）

テニス　7月3日～4日開催　旭川市花咲スポーツ公園テニスコート

男子	団体戦		準優勝
	個人戦シングルス	七島　崚（4-2）	第1位
		金子皓平（5-3）	第2位
	個人戦ダブルス	金子皓平(5-3)・七島　崚(4-2)	第1位

バレーボール　7月7日～8日開催　苫小牧市総合体育館

男子		第3位
女子		第3位

剣道　7月8日開催　函館工業高等専門学校第二体育館

男子	団体戦		優勝
	個人戦	小野寺渓人（4-2）	第3位
女子	団体戦		第3位

アーチェリー　7月8日開催　苫小牧工業高等専門学校洋弓場

男子	団体戦		優勝
	個人戦	藤盛裕貴（5-4）	第1位
		瀬尾光生（3-1）	第2位
		佐藤佑樹（4-1）	第3位
女子	個人戦	林　千紗都（5-3）	第2位

ハンドボール　7月8日開催　函館アリーナ

男子		準優勝

ソフトテニス　7月8日～9日開催　函館市千代台公園庭球場

男子	団体戦		優勝
	個人戦ダブルス	江良楓真(2-1)・久保琥珀(2-4)	第1位
		加藤魁人(5-1)・八木千裕(4-5)	第2位
女子	個人戦ダブルス	今井　泉(2-3)・中野古都(2-5)	第1位

野球　7月8日～9日開催　ひっぷ球場

男子		優勝

卓球　7月8日～9日開催　釧路工業高等専門学校体育館

男子	団体戦		優勝
	個人戦シングルス	清川幹太（1-4）	第2位
		武内哉太（3-4）	第3位
	個人戦ダブルス	西島　快（3-3）・武内哉太（3-4）	第1位

サッカー　7月8日～9日開催　阿寒町多目的広場

男子		優勝

バドミントン　7月8日～9日開催　ウインドヒルくしろスーパーアリーナ

男子	団体戦		準優勝
	個人戦シングルス	今井瀬那（2-1）	第1位
	個人戦ダブルス	本間久聖（4-1）・今井瀬那（2-1）	第1位
女子	団体戦		優勝
	個人戦シングルス	寅尾美羽（4-2）	第2位
		仁平りよ（2-1）	第3位
	個人戦ダブルス	寅尾美羽(4-2)・仁平りよ(2-1)	第1位

バスケットボール　7月15日～16日開催　旭川市リアルター夢りんご体育館

男子		優勝

第58回全国高等専門学校体育大会の結果について

全国高等専門学校体育大会は、高専教育の一環として、広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図ることを目的として毎年開催しています。各地区の高専体育大会を勝ち抜いてきた高専学生が集い、14ある競技種目を競う大会です。

本校からは、卓球、野球、バスケットボール、水泳、陸上競技、剣道、テニス、ソフトテニス、バドミントンの9種目に出場しました。成績の詳細は次のとおりです。

卓球

8月19日～20日開催
ひたちなか市総合運動公園総合体育館（茨城県）

男子	団体戦	予選敗退
	個人戦ダブルス	予選敗退

野球

8月21日～24日開催
上毛新聞敷島球場グレースイン前橋市民球場（群馬県）

男子		予選敗退

バスケットボール

8月23日～24日開催
大田区総合体育館（東京都）

男子		予選敗退

水泳

8月25日～26日開催
長野運動公園総合運動場総合市民プール（アクアウィング）（長野県）

男子	50m自由形　斎藤晶太（5-1）	第2位
	100m自由形　斎藤晶太（5-1）	第3位
	800m自由形　長沼快斗（1-1）	第5位
	200m個人メドレー　竹田優斗（3-1）	第6位

陸上競技

8月26日～27日開催
デンカビッグスワンスタジアム（新潟県）

男子	5000m　白戸柚輝	予選敗退
女子	800m　安部友理	予選敗退

剣道

8月26日～27日開催
千葉県総合スポーツセンター武道館（千葉県）

男子	団体戦	予選敗退

テニス

8月29日～31日開催
有明テニスの森公園（東京都）

男子	個人戦シングルス	予選敗退
	個人戦ダブルス	予選敗退

ソフトテニス

8月30日～31日開催
サニーインむかい（東京都）

男子	団体戦	第3位
	個人戦ダブルス	予選敗退
女子	個人戦ダブルス	予選敗退

バドミントン

8月30日～9月1日開催
水元総合スポーツセンター体育館（東京都）

男子	個人戦シングルス	予選敗退
	個人戦ダブルス	予選敗退
女子	団体戦	予選敗退
	個人戦ダブルス	予選敗退

クラブ活動報告

サッカー部

サッカー部には現在33名の学生が所属しています（5年生5名、4年生7名、3年生5名、2年生10名、1年生6名、うち女子マネージャー2名）。平日のうち3日を全体練習日とし、土日祝日は大会に参加したり、他の高校や社会人チームと練習試合をしたりすることがあります。ほかの部活や同好会と比較すると、活動の頻度も高く強度も高いことから「サッカー部は…」と敬遠されがちですが、サッカー部での活動を通してしか得ることのできない経験ややりがいがあります。

例えば、今季よりサッカー部は日ごろの練習メニューや戦術、大会参加メンバーを学生同士の話し合いで決定しながら部を運営することとなり、より学生主体への活動へとシフトしました。

この体制下、7月に阿寒で行われた全国高専サッカー選手権大会北海道予選では3連勝での優勝を達成し（vs函館高専5-1、vs釧路高専4-0、vs旭川高専1-0）、10大会連続の全国大会進出を決めることができました。この他にも高校世代で参加する大会には高体連、高校サッカー選手権、U-17高校新人戦、民報杯（リーグ戦）があり、4・5年生も含めたチーム全体ではU-19高専新人戦に参加することになり、努力を重ねることでたくさんの試合経験を積むことができる環境にあります。学年関係なく切磋琢磨しながら、昨年度達成された全国高専大会ベスト4（創部史上最高位）を突破し、今年はファイナルの舞台に進出できるよう邁進します。サッカーが好きな学生はぜひ1度グラウンドに活動の様子を見に来てみてはいかがでしょうか。

（サッカー部顧問　長尾昌紀）

吹奏楽部

私たち苫小牧高専吹奏楽部は、部員数19人という少ない人数ではありますが、それぞれが月・火・木・金・土・日曜日の好きなときにホッケー場横のプレハブ内で活動しています。

部員の人数は少ないですが、コロナ禍で活動が制限されていた期間は、一度に部室に入ることが出来る人数を制限するか、校舎から離れた場所にある部室から校舎側の体育館まで重たい楽器を毎回運び、練習後にはまた元に戻すということが必要でした。それぞれの学生が学業もある中でそのような時間を確保するのはとても厳しく、合奏を断念しておりました。そのため、何度もコンクール等への参加を見送ってきました。このような理由から2020年度からの3年間、合奏練習がほとんどできず、全体で発表を行ったのは2021年の高専祭だけでした。

4年3組　田畑愛美

しかし、今年になってからは、コロナに関する規制も緩和されたことにより、徐々に合奏練習を再開しています。現在は10月に開催される「高専祭」と12月の「冬フェス」に向けて練習しているところです。今まであまり披露することが出来なかった分、今年度こそは学業と両立させながらも吹奏楽部全体としての活動をしっかりと行い、練習の成果を発揮出来るように頑張りたいと思っておりますので、ぜひ観に来てくださると嬉しいです！

人数が少ないことで演奏可能な曲が制限されることはありますが、少ないからこそ連携が取りやすかったり、他学年間での交流もしやすかったり、とても良い部活だと思います。高専入学後に初めて吹奏楽部に入ったという部員も多く、誰でも大歓迎ですので、もし少しでもご興味があれば、ぜひ見学にいらしてください！

これからも相互に協力しながら楽しく活動を継続していきたいと思っております。いずれは高専内だけでなく地域の方にもお楽しみいただけるよう成長していきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします！

硬式テニス部

こんにちは！硬式テニス部4年部長の七島崚です。硬式テニス部は現在約15名で活動しています。とても人数が少なくなっており、随時部員募集中です。練習をする日にちは決まっておらずとても緩い部活となっています。我々の目標は3年生以下の選手は地区大会や高体連で優勝もしくは全道に進出すること、3~5年の目標は高専体育大会で全国大会に行くことです。

今年行われた高専体育大会の北海道予選では、惜しくも団体戦は敗退してしまいましたが、個人戦ではシングルスとダブルスを優勝するなど、チームの状況は現在、非常にいい波に乗っていると言えます。

硬式テニス部について「硬式テニスはやったことなくてマイナーなスポーツだから未経験者には難しそう」「硬い球が飛んでくるのはちょっと怖そう…」という印象を持たれているかもしれません。しかし全くそんなことはなく、ほとんどのテニス部員が未経験から始めているので、みんなスタートラインは一緒です！今まで怪我をした人もおらず、硬式テニス経験者の先輩が優しく教えてくれるので、すぐに上手になることができます。現在、部員がとても少ない状況なので、試合に出たいという方は硬式テニス部に入ったらすぐにスタメンになることができます！

4年2組 七島 崚

硬式テニスはとても面白いスポーツです。上手になるまで時間も余りかからず、歳をとってもすることが出来るので、一生楽しめる生涯スポーツとも言われています。更に、少人数で楽しむことが出来るため、自分の予定を立てやすく、自分のライフスタイルに合わせることが出来ます。私たち硬式テニス部員もやる気がある方は大歓迎です。

茶道部

茶道部部長の応用化学・生物系3年丸山拓海です。 茶道部の活動内容としては週に一度、裏千家の講師の先生をお招きして、茶道の基本所作、お点前の仕方を教えていただきます。 初めは慣れない正座などに苦労もしますが、やさしく、丁寧に教えていただけるので楽しく茶道の基本を身につけることができます。 また、部員同士でも学年・系関係なく教え合って練習しています。 高専祭では実際に客人の前でお点前をして、おいしいお茶でおもてなししています。 苫小牧市内で行われるお茶会にも参加し、学校外の人との一期一会の交流をしています。

3年3組 丸山拓海

部員のほとんどは茶道の経験が無い初心者です。 僕自身も茶道部に入る前は茶道の経験が無かったのですが、お点前や裏方の仕事を学ぶことで、技術や作法だけではなく、当たり前のことを当たり前に行って、相手のことを思いやり、もてなし、しつらえるという行動ができるようになったと思っています。

茶道は日常生活にも通じていて、「準備をする」「物を運ぶ」「お茶を飲む」「片づける」などの些細で日常的な行動が、茶道をする中で丁寧で美しい所作となり、それを続けていくと丁寧な所作が体に染みつき、日常生活の所作が変わります。 経験を積んでいくうち、臨機応変な対応を身につけられるようになるので、実社会に出ても茶道の経験はとても役立ちます。 茶道を始めるのに“遅すぎる“なんてことはありません。

一生続けられる趣味として一緒に茶道を学んでみませんか。

Club Activities

寮祭

寮務主事補　**藤田彩華**

6月9日（金）、10日（土）に寮祭を開催しました。これまで、コロナ禍で中止や日程短縮されていましたが、今年は前夜祭が復活し2日間で行うことができました。

蒼冥寮では、前夜祭でe-スポーツ大会、本祭でコーラ早飲み大会やアームレスリング大会が実施されました。e-スポーツ大会では学年を超えた熱い戦いがテレビ画面上で繰り広げられ、コーラ早飲み大会では服を汚しながらも早飲みする参加者の姿に周りから喚声が上がっていました。また、アームレスリング大会では留学生の参加で大きな盛り上がりを見せ、最終的に圧倒的な強さで留学生の優勝が決まりました。

楓和寮の本祭では、午前にe-スポーツとスポーツ大会が並行で行われました。大講義室の大きなスクリーンを使ったe-スポーツ大会は白熱した試合が続き、非常に盛り上がっていました。一方、体育館での大縄跳びとドッジボールでは、学年混合でチーム編成されており、優勝を目指して各チーム一丸となって汗を流していました。午後はクイズやお絵描き伝言ゲームなどミニゲームで楽しんだ後、豪華景品をかけたビンゴ大会で締めくくられました。

残念ながら雨で中止したプログラムもありましたが、参加者は終始笑顔が絶えず、楽しんでいました。最後に、企画・準備を行った親睦、企画委員の皆さん、お疲れ様でした。

春季体育大会を終えて

学生主事補　**多田光宏**

令和5年6月13日に春季体育大会が開催されました。数年ぶりの制限のない大会ということもあり、各クラスが優勝を目指す非常に盛り上がった大会となりました。開会式直前に雨が降り出し、急遽、雨天のプログラムに切り替わりましたが、体育委員会の機敏な対応や参加学生たちの協力があり、競技はとてもスムーズに進行できました。また、野外競技として「クラス対抗駅伝だけでもやりたい」という学生たちの熱意が通じたのか、一時的に雨が上がり、こちらも臨機応変な対応で無事に競技が行われ、大変に白熱しました。結果に対しては悲喜こもごもあるでしょうけれども、コロナ禍で行動を制限された3年間を過ごしてきた学生たちにとって、この日が充実した一日になったであろうことは想像に難くありません。

最後になりましたが、今大会を運営するにあたり協力してくださった体育委員の皆さん、審判の手伝いをしてくださった各クラブの部員の皆さん、競技に参加してくださった教職員の皆さん、競技に様々な形で協力してくださった教職員の皆さんに心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後の体育大会についてもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

高専協力会だより　苫小牧高専協力会の活動について

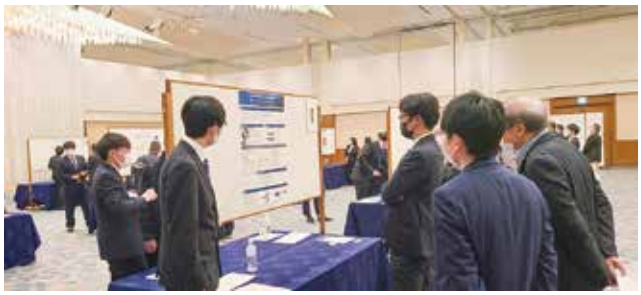
1 専攻科研究・研究シーズ発表会の開催

苫小牧高専地域連携シンポジウム2022

日　時：2022年12月7日（水）　17：00

場　所：グランドホテルニュー王子グランドホール

講　演：「境界を超えて世界をかき混ぜる未来」
マドラー株式会社　代表　成田智哉 氏
「再生可能エネルギーを利用した
大規模工場における冷暖房システムの開発」
苫小牧高専創造工学科　機械系
教授　菊田和重 氏
苫小牧高専創造工学科　機械系
特命助教　金子友海 氏



2 定期総会の開催

総会

日　時：2022年6月22日（水）　16：30

場　所：グランドホテルニュー王子芙蓉の間

講　演：「地域と繋がる苫小牧高専の教育」
苫小牧高専地域共同研究センター副センター長
フロンティアコース主任　長澤智明 氏

3 第11回会員企業合同研究会の開催

第11回苫小牧工業高等専門学校協力会会員企業合同研究会

日　時：2022年12月6日（火）
前半の部／13：10～14：30
後半の部／14：50～16：10

場　所：苫小牧工業高等専門学校第二体育館

出展企業：80社

4 若手研究者に対する研究助成成果発表会の開催

日　時：2023年3月6日（月）　15：00～16：30

場　所：苫小牧経済センター6階大ホール

講　演：「人間中心設計を基にした自動化・省人化研究」
苫小牧高専創造工学科　機械系
准教授　土谷圭央 氏
「地域の未利用資源を用いた新規触媒材料の開発」
苫小牧高専創造工学科　応用化学・生物系
助教　長尾昌紀 氏
「有機酸を利用した六価クロムの還元システムの開発」
苫小牧高専創造工学科　都市・環境系
准教授　加藤　晃 氏
「キトサンを利用した効率的な除菌システムの提案」
苫小牧高専創造工学科　総合自然科学系
准教授　有馬隆司 氏

5 学校・学生との交流・共同事業

- 令和4年度専攻科1学年授業科目共同教育への協力
- 苫小牧高専「創造工学Ⅰ・Ⅲ」における座談会「ジョブトーク」への協力
- 「令和4年度共同教育プロジェクト成果発表会」の共催
- 「苫小牧高専令和4年度公開講座」への後援
- 苫小牧高専サテライト「C-base」との連携・協力

6 道内4高専卒業者向け「I・Uターンマッチングシステム」への参画

7 各種助成・図書寄贈

- 地域共同研究センターへの研究費助成
- 学術情報センターへの図書寄贈
- 専攻科1学年授業科目「共同教育」への助成

TOPICS

室蘭工業大学主催のマレーシア工科大学派遣研修に参加しました

室蘭工業大学主催のマレーシア工科大学派遣研修に、専攻科2年の工藤真咲さんが参加しました。

8月23日（水）～9月8日（金）の約2週間、英語コミュニケーションや工学の授業、マレーシアの社会・民族に関する講義や文化体験、現地学生との交流活動など、様々なアクティビティに取り組みました。充実したプログラムや現地の学生さんたちの高いホスピタリティのおかげで、非常に有意義で学びの多い研修となりました。

小林校長がタイKOSEN-KMITL及びKOSEN KMUTTを訪問しました

小林幸徳校長は、2023年8月17日から19日の計3日間、「日本型高等専門学校の教育制度（KOSEN）」を本格的に導入したタイ王国の高専であるKOSEN-KMITLとKOSEN KMUTTの2校を訪問しました。

タイ高専では、産業政策「タイランド4.0」で示される産業を支える実践的で革新的な技術者を育成しており、現在、独立行政法人国立高等専門学校機構（高専機構）は、円借款事業に基づく教育サービス提供者として、タイ高専の運営支援のため、日本の国立高専教員を派遣し、現地のタイ人教員への指導・研修を行っています。また、日本の国立高専のうち11校をプロジェクト推進校とし、日本への学生受け入れや教材作成などの支援も行っています（苫小牧高専もプロジェクト推進校のうちの一校）。

今回訪問は、高専機構より小林校長に対して、タイ高専における特別講義実施の要請があり実現したものです。

まず、8月17日にはKOSEN KMUTTを訪問し、Acting Principal であるDr. Kongkarn Vachirapanangと面談をしました。学校の概要説明を受けたのち、施設見学をさせていただき、今後の学生及び教職員の交流に関するMOU締結に向けて進めることを確認しました。

8月18日にはKOSEN-KMITLを訪問し、Acting Director であるDr. Somyot Kaitwanidvital と面談をし、MOU締結についても確認しました。

タイ高専プロジェクト・プログラムマネジャーである加納誠二国際総括参事及び高嶋孝明国際総括参事からプロジェクトの概要説明を受けるとともに、施設並びに授業の見学を行いました。

さらに、メカトロニクス学科5年生を対象に“Vibration, Control and Mechatronics”と題して特別講義を行い、授業で学ぶ内容と研究との関連や高専生に期待される技術者・研究者像について説明しました。

10月にはタイ高専から19名の教職員を苫小牧高専に迎えて、教育及びマネジメントに関する研修を予定しており、今回の視察を踏まえた研修内容の充実を目指します。

NZ・マオリ族の学生との交流活動に参加しました

8月5日（土）、ニュージーランド北部・ムルパラにあるマオリ族の専門学校であるテクラカウパパモトウハケオタフィアウ学校から9～16歳の学生と教員の計31名が苫小牧市を訪れ、本校創造工学科2年の安部友理さんが学生ボランティアスタッフとして市の職員の方々とともに苫小牧市内各所を案内しました。

今回の訪問はアイヌ文化伝承団体「苫小牧うぽぽ」との交流活動の一環で、当日は科学センターの見学やアイスホッケーの試合観戦、港まつりへの参加など盛りだくさんの内容でした。

フロンティアコース学生が標津町でフィールドワークを行いました

7月26日（水）から7月28日（金）までの3日間、フロンティアコース5年生3名が、フロンティア研究の一環で標津町においてフィールドワークを行いました。

少子高齢化・人口減少が進んでいる地方では、自治体のサービスとしてのインフラ維持が難しくなっています。特に、ごみ収集やし尿汲み取りなど自治体が主体として動くものは、今後どのように維持していくかが課題となっています。これらを踏まえ、フロンティアコースの卒業研究（フロンティア研究）において、渡邊清掃株式会社、標津町のご協力のもと「持続可能な地方インフラサービス運用のためのシステム構築に関する研究」というテーマ（指導教員：長澤智明、土谷圭央）に4名の学生が取り組んでいます。

今回は、この研究の一環で、渡邊清掃株式会社に多大なご協力をいただき、標津町でのごみ収集・し尿汲み取りの体験、処分場の視察、標津町役場との意見交換等を行いました。収集体験では実際に渡邊清掃株式会社の社員と収集車に乗車し、可燃ごみ、資源ごみ、し尿汲み取りの業務を体験させていただきました。収集車からの乗り降りの大変さ、ゴミステーションの形や配置が収集の効率化に大きな影響をもたらすこと、分別の重要性など、実際に体験したことで多くの気付きを得ることができました。

意見交換会では、学生のこれまでの研究内容に関して、多くの有益なコメントをいただきました。今回の経験を今後の研究に活かしていきたいと思います。

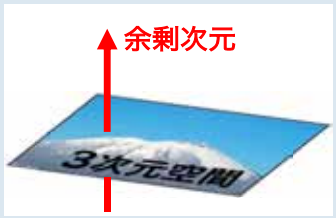
研究室紹介

素粒子物理の研究

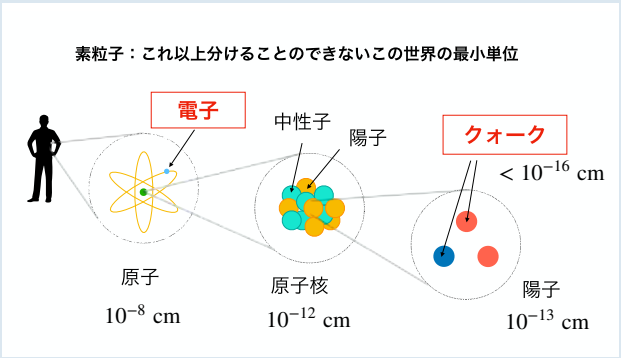
総合自然科学系助教　上場一慶

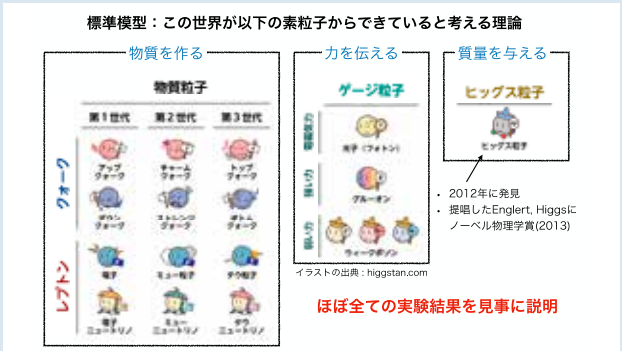
素粒子とは、それ以上分割できないこの世界の最小単位の粒子のことです。素粒子物理学の分野ではこの素粒子の物理について研究することで、自然界を支配する最も基本的な物理法則とは何かを解き明かそうとしています。

その素粒子物理の中で最も成功を収めている理論として「標準模型」が知られており、これまで行われてきた数多くの実験結果を見事に説明してきました。しかしこれで皆が満足しているわけではありません。例えば、自然界には強い力、弱い力、電磁気力、重力の4種類の力が存在していますが、このうち重力はうまく標準模型の範囲内で記述することができていません。また宇宙に存在する物質・エネルギーのうち通常の物質の占める割合は約5%ほどで、残りの27%が暗黒物質と呼ばれる光を発しない未知の物質、68%が正体不明の暗黒エネルギーということが分かっており、これらは標準模型では説明できません。標準模型の枠内でも、「物質を構成する素粒子に質量以外で区別のつかないコピー（世代）が3つもあるのはなぜか?」など、多くの謎や課題が残されています。



そのため、その背後にはそれらの問題を解決するより基本的な「標準模型を超える理論」があるはずです。その有力な候補として普段目にしている3次元空間以外に、私たちが感じ取れないほど小さな空間（余剰次元）が存在するとした理論が多くの研究者によって考えられています。普段の生活からはこのような空間があるなんてなかなか想像しづらいですが、私もこの観点から問題の解決を目指すとともに余剰次元の存在によってどんな新しい物理が現れるかを日々研究しています。





人事異動

○令和5年6月1日付
非常勤教職員
【採用】
特命研究員（甲野教授研究室）　清水祐一
技術補佐員（甲野教授研究室）　長岡佑哉
技術補佐員（甲野教授研究室）　山下響生
技術補佐員（高橋教授研究室）　柏　正剛

○令和5年6月28日付
非常勤教職員
【採用】
技術補佐員（村本教授研究室）　尾田龍司

○令和5年6月30日付
常勤教職員
【辞職】
学生課一般職員　窪田梨七

○令和5年7月1日付
【併任の解除】
総務課企画調査係長　岡本明彦
（総務課課長補佐（総務担当））
学生課図書係長　森　博和
（学生課課長補佐）
【配置換】
総務課課長補佐（総務担当）　森　博和
（学生課課長補佐）
学生課課長補佐　岡本明彦
（総務課課長補佐（総務担当））
【併任】
総務課企画調査係長　森　博和
（総務課課長補佐（総務担当））
学生課図書係長　岡本明彦
（学生課課長補佐）

○令和5年7月3日付
非常勤教職員
【採用】
技術補佐員（松尾准教授研究室）　岩原佳吾
技術補佐員（松尾准教授研究室）　太田浩輔
技術補佐員（松尾准教授研究室）　中澤愁杜

○令和5年7月31日付
非常勤教職員
【雇用期間の満了】
技術補佐員（松尾准教授研究室）　岩原佳吾
技術補佐員（松尾准教授研究室）　太田浩輔
技術補佐員（松尾准教授研究室）　中澤愁杜

○令和5年8月1日付
非常勤教職員
【採用】
技術補佐員（岩波教授研究室）　八島奈菜

○令和5年9月30日付
非常勤教職員
【雇用期間の満了】
特命教授　玉置昭文
【辞職】
学生課学生係事務補佐員　長谷部まどか

○令和5年10月1日付
教育職員
【昇任】
創造工学科教授（情報科学・工学系担当）　土居茂雄
有期雇用教職員
【採用】
総務課総務係事務補佐員　児玉美佳

高専通信

vol.163 contents

第1学年オリエンテーション …… 1
第2学年オリエンテーション …… 2
オープンキャンパス …… 3 4
授業参観 …… 5
苫小牧高専授業見学ツアー …… 6
高専体育大会（北海道地区） …… 7
高専体育大会（全国） …… 8
クラブ活動報告 …… 9 10
寮祭 …… 11
春季体育大会 …… 11
高専協力会だより …… 12
TOPICS …… 13
研究室紹介 …… 14
人事異動 …… 14

編集後記

苫小牧は昨年よりも期間の長い盛夏を迎えました。高専通信163号では、令和5年度前半の本校の様子をお知らせいたします。

本号において報告しておりますが、低学年生向けのオリエンテーションや中学生向けのオープンキャンパス・授業参観・授業見学ツアーなどの行事はオンラインには依存しない対面形式にて開催され、寮祭・春季体育大会・本校協力会関連の行事などもほぼコロナ禍以前の形態にて実施されました。教育研究や進路指導の活動の場において、コロナ禍で否応なしに獲得したオンラインの経験ですが、従前では当たり前だった対面形式での行事や活動を行う意義を改めて学ばねばならなくなったと考えております。

本校では、対面形式での海外交流事業（派遣交流と受入れ交流）が徐々に再開されております。海外交流を通じた人との新たな出会いや人との再会がもたらすものは、対面形式で実施する意義の1つなのだと思います。最新情報を本校公式WebやFacebookにて発信しております。是非ご覧ください。

総務主事補　大西孝臣

高専通信に関するお問い合わせ先
苫小牧工業高等専門学校　総務課総務係　〒059-1275　苫小牧市字錦岡443
TEL.0144-67-0213　[MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp